

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【公開番号】特開2010-241152(P2010-241152A)

【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2010-173372(P2010-173372)

【国際特許分類】

B 32 B 27/32 (2006.01)

【F I】

B 32 B 27/32 E

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月18日(2013.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

飽和脂肪酸ビスアミドおよびポリオレフィン系樹脂を含有する成形原料A、およびスチレン系エラストマーを含有する成形原料B

を共押出することによって製造される、

(A) 飽和脂肪酸ビスアミドから主としてなる、厚さが1~100nmである離型層、

(B) 基材層としてのポリオレフィン系樹脂層、および

(C) 粘着剤層としてのスチレン系エラストマー層

が積層されたプリズムシート用表面保護フィルムであって、前記成形原料Aがポリオレフィン系樹脂100重量部に対して飽和脂肪酸ビスアミドを1~4重量部含有し、

前記成形原料Bがスチレン系エラストマー100重量部に対して粘着付与剤を5~50重量部含有するプリズムシート用表面保護フィルム。

【請求項2】

飽和脂肪酸ビスアミドが、エチレンビスステアリン酸アミド、メチレンビスステアリン酸アミド、またはヘキサメチレンビスステアリン酸アミドである、請求項1に記載のプリズムシート用表面保護フィルム。

【請求項3】

飽和脂肪酸ビスアミドが、飽和脂肪酸芳香族ビスアミドである請求項1または2に記載のプリズムシート用表面保護フィルム。

【請求項4】

前記基材層、および前記粘着剤層の間に、中間層を有する請求項1~3のいずれか1項に記載のプリズムシート用表面保護フィルム。

【請求項5】

前記中間層が、飽和脂肪酸ビスアミドを含有する、ポリオレフィン系樹脂とスチレン系エラストマーとの混合物である請求項4に記載のプリズムシート用表面保護フィルム。

【請求項6】

(A) 飽和脂肪酸ビスアミドから主としてなる厚さ1~100nmの離型層、

(B) 基材層となるポリオレフィン系樹脂層、

(C) 粘着剤層となるスチレン系エラストマー層がこの順で積層されたプリズムシート用表面保護フィルムの製造方法であって、ポリオレフィン系樹脂100重量部に対して飽和

脂肪酸ビスアミドを1～4重量部含有する成形原料A、およびスチレン系エラストマー100重量部に対して粘着付与剤を5～50重量部含有する成形原料Bを共押出する、プリズムシート用表面保護フィルムの製造方法。

【請求項7】

レンズ面に複数の三角柱状のプリズムを有するプリズムシート、および前記レンズ面に貼り付けられた、(A)飽和脂肪酸ビスアミドから主としてなる、厚さが1～100nmである離型層、(B)基材層としてのポリオレフィン系樹脂層、および(C)粘着剤層としてのスチレン系エラストマー層が積層されたプリズムシート用表面保護フィルム

を含み、

前記プリズムの前記粘着剤層への食い込み深さが0.3μm以上である表面保護フィルムが貼り付けられたプリズムシート。